

竹取物語新聞

第 124 号 2016 年 7 月号
発行：NPO 法人森林ボランティア
竹 取 物 語 の 会

氷室小学校いきいき広場クラフト指導（7月16日（土））

梅雨明けを待ちかねたクマゼミたちの鳴き声を聞きながら氷室小学校へ。40名の参加予定も当日キャンセルが出て、30名ほどの参加者。3～4年生が多く、「クマのブローチ」作成もスムーズに進む。小さな土台に大きな鼻をつけて、困り顔の女の子。口をつけるとバランスが悪くなるので、「口はつけない」と言う。自分で考えて、自分なりの作品を作る。指導者はただ、

見守るだけ。

意外な可愛さにもう一つ作りたいとか、付き添いのお母さんが作ってみたいとか。材料に余裕があったので、「どうぞ、どうぞ」。最近の子は服に付けるのではなく、バッグやリュックに付けるとのこと。町で見かけたら、こちらも楽しくなるでしょうね。

（高橋 悦子）

平野小学校ヒノキ間伐体験（6月29日（水））

梅雨真っ只中の6月末、去年に続き平野小学校の6年児童63名が小川校長以下先生方と間伐体験に来場した。野外活動センターでの事前学習の後、ヒノキ林に移動してさっそく作業に入る。2班に分かれヒノキの伐倒に挑戦するが梅雨期の水分たっぷりの幹は切りづらくすぐに息が切れる子供も。

全員でようやく追い口を切り、合図に合せ皆

ロープを引く。

何といても15mの大木であり、地響きを立てて倒れる迫りに思わず歓声が起こる。午後の組のときに雨が降り出したが何のその。切り倒し、枝を払い、玉切りした樹の皮を剥く。表れたすべすべの白い木肌に「きれい！」の声も。短い時間だったが山の自然を堪能してもらえた。ケガもなく、お疲れさま。また来年！

（西本 敏明）

七夕技芸展

第26回目が7月1日～6日迄枚方市民ギャラリーで開催（主催：天の川七夕星まつりの会）。今年も多数の作品が展示されました。「油絵」「パッチワーク」「ちぎり絵」「絵手紙」その他色々・・・「竹取物語の会」は、その名の通り

竹を使った「竹細工」「竹紙」「竹の小さな花器」そのた「写真」等、多様な作品を出展、今回は6名の方が出展されました。次回は更に多くの方の参加を希望します。ご協力お願いします。

（松山 重三）

第2回竹とあそぼ「竹・木クラフト」指導

7月27日天気は晴れ、山で遊べる絶好の日和となりました。

今日は、竹と遊ぼう！「竹・木でクラフト作り」。自然材を活用した手作り体験、竹・木・工作道具に触れ、世界に一つしかない自分のクラフト作りを楽しんで頂きました。4家族、親子11名の参加がありました。今年の筍は太く背が高くなったと話したところ、いきなり「すげー、

竹（高いー）いー」と突っ込みのダジャレが子どもたちより入りました。（笑い）親子で取り組む初めての竹伐採体験は、竹林がかもし出す清涼感にも包まれ、親子の絆を育む思い出の1ページとなったことでしょう。山で得られた竹・木（コップ）などで、箸、竹筒、コップ、おちょこ（パパ用）、ブローチなどを制作、両手いっぱいにして持ち帰りました。（堀田英雄）

第二回クラフトデー「竹ふくろう」に挑戦

7月20日、荒木さん指導の下「竹フクロウ」作りに挑戦。フクロウの材料は用意して頂いたので、まずは竹の節を挟んで5センチ位の輪っかでフクロウの飾り枠を作成。フクロウの材料は卵大位の木端（胴体）と一円玉よりやや小さい木端2個（両目）、そして小さい木端を二つに切り分けて両耳を作り、くちばしと両足は松ぼっくりを剥がしそれぞれ缺で形、大きさを細工して作ります。

フクロウは胴体に各パーツを位置決めし、接

着ボンドで貼り付けていく。

耳は少し円形部分をカットし胴体に貼り付ける。目と耳と胴体の凹凸というか遠近感の加減が大切で、くちばしの位置両足の形など結構難しい物でした。最後にフクロウの上部と竹輪っかの上部に穴をあけ、釣糸でバランスを取って吊り下げて完成。細かい作業でしたが、初めてにしてはうまくいったかな・・・？

山脇（正）さん指導のバランス竹トンボは時間足らず宿題となりました。（山脇 次郎）

縦型炭焼窯について報告

長年の使用に耐え老朽化著しいドラム缶縦型炭焼炉の底面を一部改修した。

【詳細説明】 当窯の上面は竹炭用材及び焼成済竹炭の出し入れ口で、口径に合わせて別途調達したものを活用している。下面は更に下部に設置した加熱用焚き口から高熱で酸素欠乏状の煙が、窯上部に挿入した炭化用材を効率良く炭化できるよう加工されている。当部分は

加熱作業中常時高熱に晒されている為老朽化が早く、今年早々に水質浄化試験用竹炭を焼く際に際して応急修理で間に合わせた。これに続いての修理用品が今回報告の写真である。窯の構造、単剤燃焼時の熱煙の流れの説明は炭焼道場の後ろに掛かっている説明ビラを見て下さい。（吉田 善彦）